8 de Julho de 1925 N.429

Nippak - Shimbun

Caixa 375 S.Paulo Brasil
Director Saek Miura

日伯新聞

伯國 聖市
エルネストアカストロ街十八番
郵函 三七五

發行所 日伯新聞社

本紙定價
壹ヶ年 貳拾五メル
半ヶ年 拾二メル

外務官吏の伯國嫌ひ

▲總領事の任命が今以て決定せない、隨分久しいものである、倫敦や紐育や桑港上海などと直に決まるが聖市はこれで三回、特の惡い奴が大使をする樣にいつでも中々難産容易なことできまらない。

▲原因は彼此揣摩憶測を逞ふする迄もない至極簡單明瞭であるツマリ外務省の官吏が横着で南米にやられることを嫌ひ、誰れ彼もが之を拒否するからきまらないのである、スキなら誰でも二ツ返事で來る。

▲或は說を爲す者あり、聖市へは今度相當出來る者を送らなどと物色してる爲めおくれてゐるのだと、外務省の相當出來る人間と云つた所がタカが知れたもので、出來ると云つたら洋語かダンス、それに舊式外交の典禮を心得てる位なものである、永年外務省の飯を食つてるものは外務省一流のイヤな官僚氣質に御殿女中氣分を加味してをる丈けのことで、飛び放れて人間味の鮮かな手合とては餘り居ないのだ。

▲サテ、假令に相當出來る者を物色してるが爲め任命遲延が本當だとして、これが更に難物である、相當出來る者に限つて横着心は正比例する、總領事などになつて南米の移民地等に行くことを嫌ふ事御發來原々々くるだと云つてる間に、あなた方外ツイ先程去つた青木新など外務省の人達はブラジルが嫌ひだ暮から今年へ掛けての大使館の半する譯である然るに過去半世紀では所謂相當出來る組の一人そうですね、ボルケ』と云はれ所謂高等政策なるものは日本移民數は約八

だそうなが、布哇總領事に任命ても恐らく一言もあるまい。されたのを左遷として一方なら▲忍ぶれど色に出にけり何とやら隠ひたものであつた、知るを辱化し居た、其他は推して知るる可しである。

▲この樣に外務省の官吏は賢愚良否の別なく南米行をいやがる殊に少しタチの良い者になると益々いやがる、如何に主務大臣がヤキモキ氣を揉んでも（恐らく幣原は格別氣など揉むまいが）肝賢行く者が居ないのだから何とも細工にならない、即ち外務省官吏にとつては一身の榮達が第一で、國家國民の休戚は第二若しくは第三であることが明かである。

▲これは強ち外務官吏に限つたことでなく、近代官吏の殆んど總てに共通した傾向ではあるが知事なら沖縄樺太にやられてもイヤは云はぬ、が外務官吏に限つて南米行に逃げを張る而して從來此樣の我儘を通さしてあるから、益々增長して南米はイヤだなどと贅澤を云ふのである、ペノスの領事坂本某などは、亞國へ着くか着かぬから『こんな所は兎ても我慢が出來ぬ早く歸して貰はねば』と我儘を云つて始末である。

▲これが幸にして內輪のことだからよい樣なものゝ若し不幸にして伯國政府筋、民間の有力筋迄何等經驗もなければ從つて趣味も持たず持たふとせず、カマ息が聞えたらどんなものであらふ、『それ程伯國が嫌ひなら移民などは寄越さぬがよいでしよう』と總領事館などは置かぬがよいで、日本移民は伯國がスキしよう、日本移民は伯國がスキ

▲吾人は茲に大使最近の行動を批評することを避けるが、去年の續けは都會と田舍との人口が相應大敗立敎大學も明大軍に九對

民の將來に取つて可なり危險性されたのを左遷として一方なら▲忍ぶれど色に出にけり何とやら隠ひたものであつた、知るを辱化し居た、其他は推して知るる可しである。

▲この樣に外務省の官吏は賢愚良否の別なく南米行をいやがる殊に少しタチの良い者になると益々いやがる、如何に主務大臣も、心の奥に相手を馬鹿にした而して之を嫌つてる、こんな所には一日も居り度くないと云ふ根性が頑として樣つておる限り、どうしてもクマくは行かない、いくら鷹揚な伯國人と雖も外務官吏の此の不埒な心持を感知ぬ譯には行かない。

▲見よ旗日に催す招待の如何に空々しきことを、其他の外人招待の如何に虛禮に充ち誠心の缺けてをることを外務官吏の何人が伯國の太物と吾子我れ相許して行く、是れ外務官吏よりも一酒落や冗談を云ひ合ふ間柄になつてをる者があるか、こんな体からであるから、外務省官吏の伯國嫌ひ南米嫌ひ、果して何時になつたら改るか、或は永久に改らぬか。

▲吾人は斷言する、日本官吏の伯國嫌惡氣分が拔けない限り、日伯關係は未來永劫改善せられざるのみか、恐らく移民問題なども此一角から破壞されるかも知れない、現に田付大使などのやつてそことは內心伯國がイヤで〳〵堪らず、移民問題に就いて何等經驗もなければ從つて趣味も持たず持たふとせず、カマラーダが何でコロノが何であるか、人口問題を審議することになつて居る即ち我國の人口は年々約六十萬人宛增加し同時に年々約六十萬の人口が都會に集中され明大と戰ひ明大六慶應等にて慶應は大學野球リーグ戰に於て慶應は

▲母國近情▲

◉人口問題の審議

海外移民問題の解決

政府は今次の行政調査において人口問題を審議することになつて居る即ち我國の人口は年々約六十萬人宛增加し同時に年々約六十萬の人口が都會に集中され明大と戰ひ明大六慶應等にて慶應は大學野球リーグ戰に於て慶應は

本文を書き終つた當日（六月三十日）總領事館に警電あり、かねて噂あつた元移民課長法學士赤松祐之氏サンパウロ總領事に任ぜられたりと、

◉社會事業大會

千五百名の代表出席

時代の變遷と共に社會事業も從來の性質の上に改革を要する點から又一面全國的連絡も十分とるべく去五月中旬全國社會事業大會が東京に催されたが出席代表は北海道臺灣朝鮮滿州を合して約千五百名協議の範圍は職業紹介所診療所簡易無料宿泊所託兒所產院セットルメント勞働教育團体及設質屋等社會事業すべてを網羅してゐる

◉拓殖省設置か

政府は劃下の重大問題たる物價問題失業問題に最も密接の關係ある人口問題の對策に充分力を注ぐ爲め拓殖務省を設置しやうとの意見を有つてゐる

◉水電保險業官營

新政策の財源として

政府は新政策の財源として水力電氣並に保險事業の官營をなすべく既に其調査に着手した

◉勞働黨狀態研究

賀川豐彦氏の渡英

將來日本に於ける勞働黨組織に就て此際對外的には移民問題の處決をはかり對內的には農村振興商工業政策等を樹立して人口問題を解決せやうとするその要

◉日本思想界混亂

姉崎博士の講演

本月開催の汎太平洋會議日本代表としてホノルルへ赴く途か桑港に立寄つた姉崎博士は現下日本青年の思想傾向を語して曰く

『世界は封建制度から產業主義に變じなければ救ふべからざる結果を招來する恐れがある

◉篤志な家主

表彰された社會事業家

聖上皇后兩陛下銀婚の奉祝當日

◉會事業家として表彰された東京力松小留三郎氏は最近王子に十八戶の長家を建て貧しい人達を住ませてゐるが其條件に

一、毎日掃除をすること
一、よく働くこと
一、喧嘩口論賭博をしない事

但し家賃滯納差支へなき事

◉眞言八派分裂

各派自由行動をとる

眞言宗は統一派と分立派と對立派の管長及び重役が會合協議の結果遂に八派の聯合は全く解散し聯合法務所は廢止する事に決定

しかのので今後は各派とも自由行

動をとり高野山及京都の各大學や、盛に渴きす今にして之が對策を講じなければ遂に救ふべからざる結果を招來する恐れがあるので此際對外的には移民問題の處決をはかり對內的には農村振興商工業政策等を樹立して人口問題を解決せやうとするその要

義者は勞働者領者と相結束して港へ寄つた姉崎博士は現下日本青年の思想傾向を語して曰く

『世界は封建制度から產業主義に變じなければ

▲最近電報▼

◉内國船保護法

墨國領内の各港間を航行する諸外國船は墨國船の出港なき日に限り船客を乘せ得る旨一日大統領令を以て公布さる（メキシコ）

◉南部加州に强震

二十九日北米南加州に强震襲來しヴエンチユア、サンタバルバラ兩市間が最も激しく家屋倒壞し鐵路及電線切斷され後者に於ては死者六十三と註せらる尙モンタナ州グレートフオルスにも强震襲來した（羅府、紐育）

◉地震保險流行

近來頻々と襲來する地震のため高層家屋所有者は續々地震保險に加入しつゝあるが當市に於ける一糊粉製造會社は其建物に對して五百萬弗の保險を附した尙シヤトル、バルチモーア住民は地震襲來の豫報に怯へ電報にて保險會社に申込殺倒（紐育）

◉屈辱記念運動中止

七月一日は北米の排日移民法案公布一週年に相當し屈辱記念日として同案撤廢示威運動を大々的に擧行する豫定であつたが二十九日突發した南加州の震災の爲め米人の衷情を察し運動中止（東京）

▲内外雜組▼

◉新移民法公布

伯國に於ける外國移民入國規定は一九二一年公布の法令第四二四七號に依つて定められてゐたが其後時勢の推移につれて改正の必要を生じ去三月二十五日附を以て新規定が公布された其要領左の如し

一、

一九二一年發布の法令第四二四七號第一及第二兩條に該當する外國移民（二、三等船客）の入國を禁ず

二、

移民として伯剌西爾共和國に入國せんと欲するものは其目的國及び上陸港を明にし其行狀を保證し寫眞を添付し年齡國籍身分職業を明記し指紋及び特性を表示せる關係官廳の證明書を當局に提示するを要す

補則

該證明書には國境及び乘船港に於ける伯剌西爾駐在官權の査證を要す

三、

移民取扱會社に於て前條の資格無き移民を輸送せるときは之を船内に留め出發港に送還する義務あるものとす

四、

移民の輸送は伯國移民總務局の認許を經たる船會社に限る

補則

諸外國より入港せる船舶の船長は投錨と同時に左記の諸項を記載せる書類を總務局に提出すべし

イ、上陸又は通過すべき船客の姓名、年齡、性別、國籍、職業、家長との關係、宗教、學歷、最近の居住國及び地方名、出發港及び上陸港を所定の方式に據り明記せるもの

ロ、上陸移民の携帶品明細書、

五、

移民輸送取扱船舶會社は輸送船が伯國領内最初の港に到着すべき二日前迄に其船名、行先港名を移民總務局に豫告する義務あるものとす、之を怠るときは移民を入港後二十四時間船内に留め置くことを要す

六、

如何なる會社、組合、團体も移民總務局の許可なくして移民を誘入するを得ず

補則一、

移民誘入の許可を受けんとする者は左記諸項に關し適當の保証をなすを要す。

イ、移民員數

ロ、移民家族數及び頭數

ハ、所屬國籍名

ニ、移民救恤準備の程度

ホ、行先地方名

ヘ、提供せんとする勞働條件

に權利義務の相互的負擔

ト、移民誘入取扱人の提供せる保證金額

補則二、

移民誘入取扱人に於て其負担すべき義務を怠るときは取扱人たる資格を失ふ

七、

千九百二十五年七月一日以後は左記所載の港に於てのみ外國移民の上陸を許可す

ベレン、レシフエ、サンサルヴアドール、ヴイクトリア

リオデジヤネイロ、サントス

パラナグア、サンフランシスコ、及びリオグランデ

補則一、

本規定は移民總務局と衛生局との協同管理に屬す

補則二、

特にリオデジヤネイロ港より上陸せんとする移民はリオ市上陸前フローレス島に於て衛生局及び聯邦直轄區警察の檢疫或は檢閲を受くる義務あるものとす

補則三、

各州は移民の委托を受けた當該地方官憲と一致の行動を執ること

八、

農務大臣は本規定施行上必要と認むる場合適當の訓令を發するこゝあるべし

九、

移民局は今後移民總務局と改稱す

一〇、

移民總務局職員は何れの船舶何れの埠頭にも出入勝手たるべし

一一、

本規定に抵觸する諸規定は總て無効とす

◉支那排外運動消息

▲香港上海平靜　香港上海兩市の秩序漸次恢復に赴けるを以て銀行業者は協議の結果二十九日より開業

▲日支航路復活　動亂の爲め一時中止されてゐた郵船會社の支那航路も二十九日より復活

▲勞農領事館員捕はる　天津に於て共產党加擔の者百餘名捕縛されたるが内九名は勞農領事館員であつたと因に勞農領事は此報道を否認した

▲日本に戰意　日本は最近印度棉の買付を控へ盛んに米國より棉花及び滿俺を購入中なるが日本は之を彈藥製造の原料に供し支那に對する戰備を整えをると孟買では專らの取沙汰

◉伯國ボリビア間連絡

ノロエステ線を利用して伯國ボリビア間の連絡を圖るべしとは兩國人志の間に多年唱道され來つた所なるが此度ボリビア國に於て東方鐵道會社と云ふが組織され去五月其筋の認可を得愈〻工事に着手することになつた該鐵道はコシヤバンバに始まりサンタクルスデシエラ、チグレスコンセツソン、サンジヨゼ、サンチアゴを經て伯國々境に在るベルトスアーレスに達するもので此費用二百萬磅工事は凡て米人ハンス、グレッザー技師に一任されてあると因に伯國では現在北西線の終點ポルトエスペランサより國境のコルンバ迄延張すれば足り竣成の曉にはサントス港迄ベルトスアーレス及聖市の二回の乘換で達する筈なりと

▲傾事館の江越農技か地方人の爲めに霜害要心の小冊子をかいてゐたそうな▲而してそれを雜誌農家の友が更に敷衍して書いて貰ふ筈になつて居たとか▲ところが一日時報子が農技を訪ね件の小冊を見てチョと拜借と輕く持つて出たそうな▲四五日經つて農事通信社の揮旗君が原稿の催促かたゞ〻傾事館に行つてると霜害の記事が殆んど同じにチヤンと時報に載つてたそうな▲兩人ゞ〻驚に油揚をとられた型で口あんぐり先を越されて噴嚏にも

追悼會

來る十二日午後六時よりコンデ街六十一番に於て故柳澤竹十郎氏の追悼會相營み候間御出席被下度此段生前厚知諸君に御通知申上候

大正十四年七月三日

有志發起人

Dr. M. Sasada

Medico e Operador

内科・外科
其他一般
ヂアテルミー科
（リヨマチス、神經痛其他淋毒性疾患）

笹田醫院

ノロエスラ線リンス町ルイス、ガマ街

郵函……二〇三

ガルサ殖民地

農業者の成功は土地を買ふにあり。土地を買ふ人はガルサを視察せられよ。ガルサの地權、地質、その高度等に就ては二月の末から今日迄、即ち三ヶ月の間に貳千アルケールに近い土地が賣れたのを見ても判るでせう。隣カ隣まで一坪として珈琲の入らぬ所がない、と云ふが當殖民地の特色です。地價は場所により一定せず但し拂込法は四年賦無利息スタ延長線は已に當地内で工事中です。

詳細は左記宛御照會ありたし。

ガルサ殖民地にて　竹内秀一

H. Takeuchi (Caixa Postal, 110 Presidente Alves L. Norveste

ハク米

△極上等のイゲアッペ米を

ソロカバナ線及パウル方面へ御世話致します

△見本を持つて契約に上ります

△米入用、來いとの葉書一本頂けば尙結構

志賀伊之助

Cabralia L. Paulista

急告

日伯新聞第四二八號紙上に記載されたる綿業會社に關する驚愕云々の記事に就ての眞相は個人マノエル、ダ、シルバなる者當會社の目々に隆運に赴くを妬み無法にも事實無根の事を訴へ斯る仕儀に及びたるものに有之仍て當會社は即時其筋に辭訟に及び候結果昨二日彼の自白に依つて事實明白と相成り目下當會社にては名譽毀損、對する損害賠償訴訟提起中に候尙若し當會社に對して債權を有せられ本事件の爲めに不安を感せらるゝ向も候はゞ早速御申越被下度當會社にては總ての責任を負担致すべく候

大正十四年七月三日

水本商事會社

水本律多治

Rua 15 de Novembro 61 Caixa 639

Enderesso Telegraphico "MISMOTTO" S. Paulo

謹告

當會社にては今回事業擴張の目的を以てボルサ、ダ、メルカドリア、デ、サンパウロに加入致候間倍舊の御引立の程願上候　敬白

大正十四年七月二日

水本商事會社

優秀なる珈琲地帶賣出し

一、位置　ノロエスラ線ルサンピーラ停車場より初まり『エスピゴン』迄僅々十三キロメートルは當ノロエスラ線に於て他に見ざるパウダーリヨ、フキゲーフ及ペロータバの繁茂せるテーラローシヤ地帶

一、地質

一、總面積　貳萬貳千アルケーレス　右の内土地購求者の自由撰定に任せ珈琲地帶を提供す

一、拂込　聖南銀行『バンコ、デ、コンメルシオ、イ、インデウストリヤデ、サンパウロ』が絶對の保證をなす

一、價格　一アルケール、金二百五十圓より金五百圓迄

一、地券方法も種々あり御相談の上出來得る限り御便利を圖る

保證銀行

サンパウロ市　バンコ、ド、コンメルシオ、イ、インデウストリヤ、デ、サンパウロ

土地所有者

ジョナスヤルベスデメイロ

事務所ノロエスラ線アラサツーバ驛オテルコムメルシオ内郵函……九番

現場　同ルサシピーヲ驛

担當者主任土木技師　中島一男

詳細は担當者主任技師中島一男氏まで御照會且つ御申込被下度、尙は御視察に御出の節は前以て電報被御一報下されば御案内の用意萬端相調へ置き可申候

申込所

李さん物語

（九）　Z生記

▲渡伯早々の若い者はどうも落付がなくていかん、二三年の間山へ入りエンシャーダを引張つてミツチリ修業して來いとは竹村第何回以前に來た動物の口癖に言ふところだ。俺がサンパウロへ出るもうてから農場主任を始め所長心得からドトールに至るまで誰の言葉も矢張り此範圍を拔けなかつたやうだ。併しながら嫌氣かさしたら瞬時もそれを繼續出來ないのが若い者の通有性でないか、おれも無論若かつたもんだで誰がどんな合言を並べて呉れやうが一向有難く心得られず遂にレジストロ退去のことに決めた。

▲何でも八月中旬のことでイグアッペ町にお祭があるとか下りの船はあるけれども上りはないと云ふ、足がないのに問へて見ても始まらず流石の俺もその時は少々憂づいたが立派にサヨナラを言ひ切つた手前合乘船便のあるまで置いて下さいと云ふ程調法な禮儀を生憎習つて居なかつたのでバーラに突立つた儘生れて二十一年の總智慧を絞えべ丹田に力を入れグッと反り身になりながら頸を左斜前四十五度角にひねつて見た。

▲……が名案はどうしても浮ばない、それもその筈さ、おれが折角生來の總智慧の棚卸しを始めやうと氣張つてから間もなく何處からともなくヴキオロンの音が聞えて來たのだ。俺は日本に居た時分從兄から、彼がヨーコッパへ行つて何とかの研究をし三四年しての歸るさ伊太利へ寄つて買つて來たと云ふ因緣付のヴキオロンの音を伯母の家で無少し遲れたとは思つたが何でも理性生に聽かされてから妙に頭にこびり付いて離れなかつたのが、思ひがけなくも怨んな異國の山中に聞えて來たので急に記憶が新らしくなり又戀しくなつてつひ聽き惚れてしまつてたのだ。

▲八絃の妙な響きは俄かに近くなつて來た。フと河の上方を見ると一艘の獨木舟が今し河の曲り角を過つたところでヴキオロンの音は正しく其處に生れて河面を轉んで來ることに相違なかつた舟子は一人であらうのに舟の速力は相當に疾く聲何もなくおれの目の前に滑つて來た、見れば二人の姉妹らしい半黑娘とその母親らしい中年の女を舟の眞ん中に座らせ、一人若者が舳を背にヴキオロンをはすに抱えて一心にかき鳴らしてゐる。艫にはこれも若い盛りの黑ン坊が白いズボンに赤味を帶びたシャツを肩近くまで捲り上げ肉付のよい石炭色の腕を誇り顏にみせて方尺にも足らぬ舟の先端に兩足を揃へたまゝ櫂をたてにして悠々と漕いでゐるのだ。

▲おれは獨木舟の軸に白く碎ける泡沫が三角形の漣に乘りうつる、前へ前へと殖えてゆく小波の重なりを見送りながら突然妙策を案出した。それは獨木舟を一艘傭つてジュキア迄此サベイラ河を遡行することだ。

『ウム、それまた』

俺は急に元氣付いてからに一町足らずの道を川上のトルッの雜貨店へ走り買物に來てゐた日本人に通譯を頼んで亭主に掛け合ふて貰つた。カマラーダが呑らしい化學應用軍器又は精鋭なる空軍等、恐る可き幾多の威力を加へてゐる。又海軍に於ても其比でない。航空機の改善と擴張には多くの力が注がれ。ついに先程英國で、一億一百万弗の海軍航空費が議會を通つた。これかワシントン會議後わづか三年なのである。

物恐ろしい列國の軍備

軍備通

軍備縮少は、各國政府者に對して未解決の問題を殘してゐる合衆國大統領はこの問題の遂行に就て好例を示す事を言明してゐるのに、一方歐洲よりの半公報は、世界の平和策が尚樹立されないで居るうちに、歐洲各國は軍縮會議不參加の氣勢を見せてゐると傳へてゐる。

歐洲各國の陸軍費は依然增加を示してゐる。國際聯盟の調査は、大戰以來高上に高上を重ねてゐた。納税者の國防負擔額が却つて高率を示してゐる事を表示してゐる。

戰後七年、世界の軍備は、泰平に於て少くとも六百万を有し尚豫備として二千四百万を存し今日の戰鬪員は一九一四年の大戰當時に比し精巧な機關銃、新戰術に比し精巧な機關銃、新式の化學應用軍器又は精鋭なる空軍等、恐る可き幾多の威力を加へてゐる。又海軍に於ても其比でない。航空機の改善と擴張には多くの力が注がれ。ついに先程英國で、一億一百万弗の海軍航空費が議會を通つた。これかワシントン會議後わづか三年なのである。

軍備費不節減

軍備費は增大してゐる。一九二二年度北米の軍費は一億四千四百十七万弗であつたのが一九二二年度には十四億二千二百七十五万二千円にのぼつてゐる。一八七二年以來、北米は二四一乘つた時なので、一寸の尻の動かしやつても直ぐにぐらつき土三パーセント、英國七九四パーセントの增加を軍備に於て示してゐる。一九二三年度佛蘭々防費は十八億七百万法から一九二二年度の五十二億三千六百万法に增加して居り、英國々防費は一九二三、四年度に八千六百二万八千磅から一九二二、三年度一億六千七百十二万七千磅に增大された。

日本は一九二三、四年度に一億九千百八十八万六千圓であつたのが一九二二、三年度には六億四千六百四十万圓に增加された。一九二二、三年度の全豫算に比較して、國防費が實に國庫支出の四四、一パーセントを占めてゐる。何れの國に於ても軍費はかやうに、全豫算の大部を占めてゐるのである。

軍縮の實行には困難が殘る。一八七〇年に至るまでの間、煩はしい課税から浮く財力、軍縮の剩費を如何にすべきかに就いて盛んに論議されて來た。そして唯一の道か、戰時議會に依り作られた諸法案を平和會議に放棄するのであつた。日露戰爭の臨時議會及び平和會議後再此問題は論爭される事になつた。一九〇七年のヘーグ會議に於て一般軍備縮少の可能性が審議され其後英國は海軍の製艦休日を示した。が而し何等の同意も示されなかつた。そして大戰後又國際聯盟が該問題に觸れたのである。

一九二二年のワシントン會議は、主としてこの軍縮を取扱ひ主力艦に就いては、先づ噸數を限定し、原噸數の如何にかゝはらず最高排水量三万五千噸、主砲十六吋一制限した。しかし巡洋艦一就いては何等の制限をしない。だから各國の軍備に對する力は今や此の巡洋艦、驅逐艦水雷艇に注がれつゝある。

軍縮會議當局は、永久に又繰返へさるゝ會議だのに、滿足な進歩が行はれるに違ひないと得意に云ひ張つてゐるのだ。

（つゞく）

レヂストロ寺院建設寄金芳名

（第一回受付順）

◆ソロカバナ線アバレ驛
一金百針　武田南米殿
◆イグアペ神父
一金五百針バードレカセイジ殿
◆レヂストロ
一金三百針　栗田半一殿
五コントス　ミゲル兄弟殿
五百針　青木新次郎殿
仝　〃吉殿
仝　平田繁太郎殿
仝　平田清吾殿
仝　國行卯一殿
二百針　安山巖殿
仝　渡邊和佐太郎殿
◆カピンザール
一金百針　シモオシテリーマ殿
二百針アマンショサンタナ殿
◆サンパウロ市
一金二百針　サクルナムル殿
◆レヂストロ
一金百針　南理髮店殿
仝　沖邊常次郎殿
百九十針　出利葉政次殿
百ミレ　廣嶋金作殿
百五十針　久保若松殿
百五十針　外山須作殿
仝　別府力大殿
三百針　馬場留四郎殿
百針　青木重刀殿
仝　坂野幸太郎殿
三百針　菅山鑑造殿
二百針　前地七郎殿
五十ミルレス　ジョアキンボルハ殿
二十ミル　淺沼博一郎殿
百五十ミルラブエルモレイラ殿
二百ミルジアキンマルクス殿
計金拾一コントス五百二拾針

◆レヂストロ
炭二千枚　豊田小四郎殿
仝　三千枚　吉本元一殿

右之通りに候也

大正十四年六月廿八日

發起人會計

栗田平一

親切御便宜を旨とし
お客樣の御滿足を期します
九州旅館
パウル市ソロカバナ街三番
加來晋一

位置はソロカバナ方面旅行の御方に最利な場所です
尚上等綿種子（消毒濟）の御注文に應じます。

日本旅館
北西線パウル驛前
沖山心平

アラードの要る人は
カンナ摩取機械の要る人は
精米機の要る人は
其他農牧上の凡ゆる機械の要る人は
明日といはず　今直ぐに
Casa Upton Rowle & Co.
R. Florencio de Abreu, 99—A
〈御訪れ下さい。凡ゆる機械は皆さんの前に取揃えられてあります

廣告

大阪朝日新聞
一ケ年分前金百五十ミル
東京朝日新聞
一ケ年分前金百四十六ミル
右本社においてお取次ぎ致します
日伯社

Y. KIN
DENTISTA
齒科醫　金城山戸
聖市アッフォンソ　ペナ街三七
電話　シダーデ　六二六七

東京館
電話線一四七六
マウア街二九一
聖市停車場前

廣島屋旅館
聖市ローセレイロ、プラタド街十六コンテ電話上電話セントラル四四七六
小川源右エ門

北西線リンス驛
大福旅館
高橋善之助
齊藤好位
郵函　六二

成功館
内國產經節製造元
古謝小枝
サントス市　ラルゴ　セッテ　デセッテンブロ一五
電話三〇一八番

御旅館　上地
聖市、ルア・ポニータ十一番
郵函
電話番号　一二二五
五七〇一

聖市コンセロイロブルダード書籍（讀書）
電話……セントラル……四一〇二
御旅館旭
館主　秋田幸次郎

創作

ゆける寶玉

（二）　ときお男

『自分はローザに戀して居るのだらうか？……否々……』

胸に出來た毛のある塊りは自身さへ知らないのでした。

『苦悶！戀でなければ何故の苦悶だらう？美しくて可愛いと眺める、これは萬人共有の權利ではないか。』

愚んな薄弱な理由では、到底考へを翻す事は出來ないのでした。『……天に美しい水晶の樣な星がギラ〳〵と下界を避けて輝いてゐる……』私は此星を見る樣に彼女の美を第三者（？）の立場から見る事は、物足らない、籠の中の鳥を放した樣な空虛な感慨に打たれるのでした。

『結婚！自分はそれは……此の心を滿足さすにはどうしても結婚しなければならないのか？然し結婚しては此の今の嬉しい心は必然消えるに違ひない。』

私は斯う考へたのでした。

『自分は彼女に依つて女性愛を求めて居るのではない。今此の胸に閃く愛の心は結婚すれば、夫婦愛に遷るであらう？自分は此快感を覺える羞恥、否此の愛を捨てるのを欲しない。要するに自分は彼女の何物をも望んで居るのではない。只、今の瞬間の胸の閃きの永續を欲するのである。』

これでは結局解らないのでした。常識から考へると、殆んど發狂してゐるとさへ思はれる程馬鹿氣た考が胸に往來するのでした。さうして遂に私は自分の心が餘りに漠然としてゐる爲めどうしても血路を見出す事は出來ないのでした。

私はローザとは正木君を通じて少々知り合つた仲でした。それで過ぎて『ボアタルデ』で挨拶する度に、胸の血潮は逆立つて『云へ〳〵』と頻りに騷ぐのでしたが、必要ない事は千言万句はメーザの上で眞白いレンソを冠つて日曜の着物のパッサをした女らしい姿を見るたび張り切てゐました。私は彼女の斯うした樣な滿足心が湧いて來るのでした。

愈々ダンサの稽古を始めてみると私にはテンから呑み込められない樣な氣がするのでした。グン切ら棒な私には、あの輕快に、そして旨く音樂と調和がされてフワリ〳〵と解け入る樣に身躰をこなすなんて思ひも寄らぬ事なのでした。

何雀の樣に喋々する私り『○』の爲めにはどうでせう、非常に怯た猫の前の鼠の樣に震へて、どうしても胸の塊りを言葉として彼女の耳に告げる事は出來ないのでした。

私は間も無くダンサの稽古を始めました。理由は簡單ならのでした。要するに、希望への第一歩なのでした。

『自分は卑怯だな！』私は靜かに、ダンサを始めと動機を考へた時、さもしい自分の心に見ち人へて見ると、戀、結婚、そんなものを望まない自分は、詰局それが當を得た策の樣に思はれたのでした。『彼女と踊る……自分の心の一部はそれで滿足するかも知れない。』と思つたのでした。

當時私はS線の0驛近くのG耕地で、一人働いて居たのでした。正木君は二里程離れたB耕地に居たのでした。其所ですローザの家と云ふのは……彼女の父親は、元衛甸牙の官吏であつたとかで、無知識な田舍の人々と何所か變つて、殊にローザの身成りの高尚な、氣品のある美しさは、それは丁度鶏群中の一鶴の樣な感がありました。それに日本人をよく了解して居て、私等にとつては非常に感じのよい外人でした。

正木君と云ふのはもう在伯十年にもなつて、言葉は自由自在殊にダンサは堂に入つたもので外人迄が驚く位で、所謂ダンサ友達と云ふのが隨分澤山あつた樣でした。私は此正木君の所へ土曜日の三時頃から稽古に出掛けたのでした。

同君の家へ行くにはどうしてもローザの家の前を通らねばならぬのでした。私はそれが嬉しく又一寸淡い心地よい羞恥を覺え乍ら、『ボアタールデ』と胸を彼は、寂しく苦笑して自分が取りかへしのつかぬ事をして自らせめられるやうな氣がした。

榮一はやつぱり彼女を思ひ諦めなければならなかつた。一時は戀愛を神聖視したのれども愛に對しては何物も絶對不可侵を信じたれども、彼は何うしても彼女を目分の所有物とする事は不可能である事を知つた。

彼女を愛するには餘りに向ふ見すてはなからふか、何物かを置忘れてゐるやうな氣はしないか？

彼女より以上に持つべき何物かが自分には缺けてゐはしないだらうか、こんな事を切實に感じたからである。

榮一は一年二ケ月後、彼女の家に働いてから……彼女の愛から、彼女一家の愛撫から遠ざからなければならない時が來た。

驛には冷たい客車が彼の來るのを待つてゐた、也子は弟正雄を連れて親切にも彼を驛迄見送りに來てくれた、榮一と正子とは切符を買つてからも種々と話を交した。

「此度あちらに行らつしてもきつとお忘れない樣にお手紙を下さい、私もこちらの事をおしらせしますから……」

「ハア……」

彼は彼女にこれだけの答をして下を向いた、絶えず何物かが來て彼の胸を強く壓迫するやうで胸苦しい苦痛をさへ感じた。

汽車は待つまもなく汽鑵車は重い車輪の音をひびかせ白湯の沫を吐き乍らプラットホームに入つて來た。

榮一は正子に手を出して、

「何うも有難ふ御座いました、貴女もお身を大切に、家にお歸りになりましたら皆さんによろしく云つて下さい」

と挨拶した。

可憐な正子も手を出して握手し乍ら

「デワ御氣嫌よふ、貴兄の成功を祈つてゐますお身を大切に」

二人は固く手を握りあつた。

二人とも眼に涙の浮んでくるのを覺えた、感激の餘り二人は泣いてゐるのだつた。

榮一は正雄にも挨拶して汽車に飛び乘つた、正子の振る白い手布は汽車が見えなくなる迄振られてゐた、榮一は顏を出して帽子でそれに應じた。眞實に彼にとつては悲しい愁しい身を切られる樣な別離であつたのだ。

面してこんなに孤獨な家に病床に呻吟して此の樣な空想に耽ふ現實の悲哀でなければならないのだ。

彼は病床からソット頭をあげて聽き耳をたてた、戸外では靜かに極靜かに棉の木に雨がたゝきつける音が聽えて來たからである。（終り）

創作

孤獨

プレジョン殖民地　小原生

（五）

その相手とする異性が貴賤、尊卑、貧富、博學、無學に依つて左右される樣な戀愛は眞摯な戀愛ではない、純新な戀愛は、渦淨な愛と愛との結晶した、そして情熱と情熱との融合したものゝ意味でなければならないのである。

自分は淺果敢な戀はしたくはない、そして戀愛といふものは無價値な無自覺な又不神聖なものでないと云ふ事を知つてゐる。

戀愛は眞に正しいものと正しいものとの戰ひであり、清純な心と清純な心との愛に對する刹那の雷光である。

自分は少くもそのやうな戀愛を期待してゐる、正子に對する戀愛も斯の如く美しく清きほどばしりから出たのである。

と、此の樣に彼は思ひめぐらしてゐた、そして今迄描いてゐた空想が又一時に碎け落ちて何を考へてゐたのか何を思つてゐたのか理由のわからない樣な掴みどころのない心に何時しかなつてゐる自分を見出した時……、彼は、寂しく苦笑して自分が取りかへしのつかぬ事をして自ら

拜啓各位益々御清穆賀上候陳者私儀今般家事上の都合に依り去月三十日出帆のハワヰ丸にて歸國致候に就ては在伯中蒙り候深甚なる御芳情を感謝し併せて各位の御健在を祈上候

七月三日　日下勝藏

辱知諸彦

お暇乞

各種時計
蓄音機類　修理專問

魚住時計修繕所
（聖市廣島屋旅館內）

時計の病氣なら必ず完全に直します、而も安價に試に一度御試し下さい

呂木雜貨、獨逸品各種賣藥、罐詰類、玩具いろ〳〵、額面用びーどろ額縁

柳木商店
バウルー市バチスタ
ダカルバリヨ街一四番

◆典產物仲買商◆

噴霧器ベルデバリス
アルセリコ、サルバドール等の取次販賣も致し

岡島仁郎
セ、セーザル驛
郵函、十四番

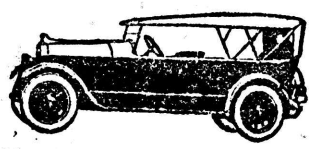
聖公會

毎日曜日
午前九時半靈拜說教
午後二時　日曜學校

日本人基督教會
牧師　伊藤八十二

教義講習所
コンデ街二三番二階
毎水日曜日午後八時
郵函二八七八番

Garage Congresso
Praça João Mendes
Telephone Central 81



ホテル
たすお
そんオ

麻州
カンポグランデ驛
宮平市榮

測量、製圖、
土地調査、
道路工事請負並設計
其他土木に關する一切の御求めに應じ申し候

土木技師　野村秀吉
北西線リンス町
郵函　一七九

Rua B. de Carvalho No. 5
Telephone No. 156 BAURÚ

今度上記の場所に於て再び旅館開業仕り候間倍舊の御贔負賜はり度奉懇願候

舊ホテルコングレソ
澤尾ホテル
バウル北西驛前
電話　一五六

日光館
榮門松
サントス市プラサ、デ、ジヨゼボニフアシオ五十一

食料品及雜貨販賣
歸國者御用達

上原商店
サントス港ラルゴ、デ、セッチセッテンブロ　十六
電話　二〇〇八

旅館潮
館主　前田吉太郎
サントス港（ランセルベスターナ街四八番）
電話　一九二四　郵函三二八

創　鹽　干
節　辛　魚

K

三共商會
發賣元　サントス市ルア、セナドルダンタス五十三番
電話　セントラール　三〇五四番
カイシヤ　三二八番

◉總領事任命

久しく行き惱みになつて誰ら來る者のなかつた聖市總領事は愈外務書記官でこれまで通商局第三課長を勤めて居た赤松祐之氏が六月二十九日附で任命された由七月一日に電報が總領事館へ來た新總領事任命の報に接した領事館では赤松氏を本省で知つてる者を知らない者やの間でこんな人だと噂とりどり噂出發期は不明であるが既に久しいこと伯國行を承知するのせないのどデッチ上げた揚句たから存外早く出發するかも知れぬとのことなるが早くも九月でなければ着任の運に至るまいと

仝氏の官歴は

明治十七年十二月兵庫縣生、四十三年東大法カ卒業同年外交官試驗合格、四十四年六月任領事官補廣東在勤、大正三年紐育在勤、五年七月任領事、五年九月ポートランド在勤七年吉林在勤、八年七月任外務書記官通商局第三課長ヲ命ス、

◉リオで大持ての天野常子

目下リオ市カピトリオ座で出演中の天野常子は歐羅巴から來た日本女優だか三浦環喜波貞子以來ブラジルへは日本女優が來ないのでリオでは大持て仝市打揚後本月半頃聖市へ乘込みの由尚仝嬢は別項廣告にある通り當伯國で邦人女優志願者を求めておるから希望の向きは本社宛ー申込まれたし

◉水本の破產は他の妬みから

前號所載の水本津多治破產の件は同業者マノエル、ダ、シルバなる者より無法の訴へをされたるなるあの樣なことになつたが早速控訴して車實明白になつた由本人直接來社して辨明した所を其儘

◉移民船阿波丸は本日着

月末に着く筈の郵船阿波丸はおくれて今日着今回の移民から新移民入國規定が實施される筈であるが果してどうなることやら

◉汽船河内丸は七百餘名を搭載

去月二十月出帆したりと

◉内山書記官來伯　中南米視察中の仝氏は去月二十九日ペノスよりリオ着來遇始頃來聖リベロンバウルを巡回の由

◉試驗又々延びる　リオ市の邦醫留學生の試驗は又々延期で本月下旬から始めるの由、從つて同仁會の衛生講話會も延るかも知れず

◉ミーリヨ喰はれて八百ミル

郊外コチャ村では近年芋が思はしくない所からミーリヨに替りつゝあるが佐賀縣人中村某のミーリヨ畑へ廣島縣人岡野某の馬が入つて作物を喰ひ荒した所から中村はピストルで之を射殺した迄はよかつたが岡野も默つては居らず其筋へ訴へ出た所岡野は伯人モッサと結婚してる爲め伯人の應援が盛んでとう〳〵中村の敗けとなつて八百ミルの損害を取られた由

◉コングレソ遠足　ガヲージコングレソの有志連は去月末ヨサントス港バシャ妻君連を乘せて行つた所までは上出來であつたがマルチンアフオンソ近くで妻君連をオイチキばりで何所かへメートルを上げに行つたとは罪だぞ〳〵

◉レジストロにお寺　レジストロに日本人の入殖を見てから既に十年に垂んとせるのに未だお寺が一つもないのは邦人の腰を落ち付かせる上から云つても大きく日伯親善の上から視ても大きに遺憾な點だとあつて同地在住の基督教信者が發起となつて奔走の結果去る四月船着場の近くに一宇を建立することになり本月より工事に着手年内に竣工さす豫定であると目下發起人に於て寄附金を募集中因にお寺はサンタイリアと命名せる由

◉農家の友よくなる　揮旗農學士が讓受りてからの雜誌農家の友は内容から体裁まで從來とは大に面目を改め減切りよくなる樣に

◉移民船阿波丸はお

去はサンタイリアと命名せる由

◉農家の友よくなる　揮旗農學士が讓受りてからの雜誌農家の友は内容から体裁まで從來とは大に面目を改め減切りよくなる樣に

氏は阪井田南舟とコンバで何カ書く由

◉アルフレッド、エリス逝く　二十年來ペ州選出上院議員の椅子を占め政界の長老であつたアルフレッド、エリス氏は去月二十九日リオに於て他界した仝氏は千八百五十年英人名醫ギレルメエリス博士を父として聖市に生れ本年七十五才、一八六五年北米に遊び一八六九年ペンシルバニヤ大學の醫學部を卒業し仝年鳳洲を漫遊して其年の十二月歸國當時猖獗を極めた黄熱病撲滅の爲めに盡すところがあつた爾來十二年間醫師として聖市に住居し後リオクラーロへ轉じたが同地に於ては奴隷廢止党の急先鋒となり自ら第一番に之を實行した後身を政界に投じ一八九一年より一九〇三年まで聯邦下院議員に選ばれ翌年より仝上院議員となつて今日に至つたのである尚氏は大の日伯親善家であつた

◉爲替　正午九二十日郷里送金建相場三、一八〇

商況

聖市商品取引所最近調

米（特等）	六〇キロ一〇八〇〇
仝（優）	〃一〇〇〇〇
仝（中等）	〃九〇〇〇
仝（並等）	〃八五〇〇
豆（エスラマ）	〃一〇〇〇〇
仝（ムラテニヨ上）	〃一〇〇〇〇
仝（ムラテニヨ中）	〃一〇〇〇〇
仝（ムラテニヨ下）	〃一〇〇〇〇
砂糖（特等）	〃六〇〇〇〇
仝（グリスタル）	〃一〇〇〇〇
仝（ムラテニヨセッカ）	〃一〇〇〇〇
仝（ムラテニヨ中）	〃一〇〇〇〇
仝（ムラテニヨ下）	〃一〇〇〇〇

FHOTO—ARTIGOS

AFFONSO D'INCECCO

Largo S. Bento, 12-A-sob.

寫眞

愛好家のために凡ゆる便宜が計られてあります

寫眞機、用紙、乾板、フヰルム、藥品一切其他

機械の修繕から引伸ばし、現像、燒付け

Dr. Arthur Zapponi

Medico, Operador, Parteiro

診療所（午後三時ヨリ五時迄）聖市ベンタ街四十番二十二一番室

電話セントラル六三二一

醫師

アルツール　ザッポーニ

自宅（自午後一時至二時　自午前八時至九時）聖市ベンタ街一五五

めさしこ丸

呼寄移民氏名

沖縄縣　平良　三郎
仝　仝　カメ
仝　仝　オト
仝　金城　ヰ喜
仝　邊土名朝則
仝　上城　カマ
仝　島袋　德助
仝　仝　カナ
仝　源河カマダ
仝　仝　マカト
仝　清市
仝　上地　弘英
仝　仝　ハル
仝　金城　福重
仝　大城　幸榮
仝　平良　敏
仝　眞喜屋ツル
仝　仝　實雄
仝　仝　實義
仝　伊波加那助
仝　萩堂　ウタ
仝　新里　嘉吉
仝　松本　マツ
熊本縣　武田　チエ
鹿兒島縣　荒武フジエ
仝　畑野　草苗
沖縄縣　神谷　厚存
栃木縣　橋本　正司

本船は七月十四日サントス入港の豫定なり呼寄關係者は至急現住所御通知ありたし

海外興業株式會社移民部

Hachiya & Irmãos

Importação e Exportação

本店　リオ、デ、ジヤネロ　テオフヰロオトニ　八五

蜂谷兄弟商會

支店　サンパウロ市　セナドルフエージョ二十二　電話……五二六七　郵函……二六七〇

綿だね

西田逸二郎

Est. Tabatinga L. Douradense

州當局の消毒檢閲濟

▲種類は（ルッセルピッケボール　クリーブランドピッケボール　ノーバパウリスタ　サンピン）の四いろで雜りものゝない優良品

▲値段は當驛渡しキロにつき一ミル二百（新サッコ入）

品切れ前に御注文肝要

女優志願者募集

目下リオ市カピトリオ活動寫眞館に出演中の女優天野常子の助手として契約の上伊太利國に同行し仝國ナポリ市に於て修業せしむ

應募資格

年齢十八歳以上二十五歳迄の獨身者にして父兄の承諾あり自由行動を採り得る者

採用方法

天野常子自身聖市に於て希望者と面談の上採用す、採用後を旅費並に修業費を支給す

締切期日

七月十日迄に日伯新聞社宛に申込まれたし

募集人員

五六名

リオ、デ、ジヤネイロ市

天野常子

◆當社貸付移殖氏諸君へ◆

本月初め本年一月末日迄の貸付金諸家計算書を發送致しました。

近頃は爲替相場も大分長くなりましたから此際多少なりとも是非お拂込下さい、そうでないと後でめんどうが起ります。

他轉された場合は直ぐ地名、驛名、耕地植民地名又は郵函番號等を詳記してご通知下さい。以上

大正十四年二月

海外興業株式會社伯國支店

Kaigai Kogyo Kaisha

Caixa 1052

ノロエステ線土地賣却

一、位置　ノロエステ線バクリー、コトヴエロ、ルッサンヴキラ、マッシャード●デ●メーロの各驛を上チ内に有し總面積五万アルケレス　下ねチエテ河より上山脈地に到る、低地三百米突より高チ五百五十米突迄チは上院議員ロドルフオ●ミランダ氏及令息下院議員ハイス●ミランダ兩氏のチにしーチ劵確實ヨ確保證は一般有識者の證明する所です

二、地味　最良肥沃にして珈琲、穀物類、養豚、牧畜に適當なるチにてバウダリヨ、オセンロンヤンガーダ、フイゲーラアー肥沃を證據立つ草木に覆はれ低チ高チの御希望に應じます。

三、地割　一區一アルケレスを最少限度として幾千アルケレスにても御望みに應じ御視察の上御申込次第拙者買地に於て分割致します。

四、視察の際は當アラサツーバ驛にて事務所御訪問下されば　般御便宜取計ふべく當市より自動車通あり土地内四方を通すれば御希望次第御案内申す

五、支拂　高低の差に依て價格一定せず初年入殖と同時に三分一及年金殘額三ヶ年掛御思考に應ず

六、將來の發展　ノロエステ保線課にてアラサツーバ驛より山脈線に變更する設計ありて其變更線は本地内を通過して將來マトグロッソ州の進化と共に農産物の輸出に最も有望の地點です。

七、本地は小生ロドルフ●ミランダ氏より測量設計分割其他道路一般土木事務引き受け居れば職權上全般の責任を負ひます御視察の上多少に拘らず御求めの程願上げます御照會被下れば早速詳細說明測量濟の地圖同封して御送附申し上ます

▲事務所　ノロエステ線ルッサンヴイラ驛拾三基米

土木主任技師　林田鎭雄

兼支配代理人

SHIZUO HAYASHIDA

Est. Lussanvira L. Noroeste

昭和十四年七月三日 金曜日 第四百二十九號

Nippak - Shimbun

3 de Julho de 1925 N.429

斑鳩平次

新派喜劇

第二十七席

平次大森兄弟を打据へ看板擔いで師匠の許へニコ〳〵

主膳「ハヽア左樣でござるか、拙者は仰せの如く大森主膳、神保源吾の兄弟でござる、以後お見識り置かれて宜しうお願ひ申す」平「ヤ、ヨロシクとよろめくやつを平ア御門弟拙者は斑鳩平次と申す未熟者でござる、何うかお手柔かにお願ひ申します、何誰と相手は選びませぬから、我と思はんお方は遠慮なくお出でなさいといはれて門弟共は互に顔見合せ ○「モシ彼は駒木根の小天狗とといはれる者でござる、到底我々は敵ひそうなことはござらぬ」

▲「いかにも左樣でござる」と誰人出て仕合をいふ者かない、平「サアお出でなさらぬか何誰でも宜しうござる」といつて居るうちに平次の技倆を知らぬ奴か ○「では拙者がお相手をいたすでござらう」とその場へ出て來たが、ヤツと立上るが早いかボン〳〵と二三度打合つたかと思ふと平「お面…」○「參つた」と退つてしまふ、すると代りの奴が出てくると、これも間も無く平「お籠手…お代り」またもや出て來るとお胴…お代り、まるでソ麥か饅飩を喰ふやうにいつてゐる、全くの病氣でござる」平「居る、ところが平次も表面ではおとなしう見せて居りますが、內心はおのれといふ腹立ちまぎれに打つのでございますから、打たれた奴はみんな紫色に變つて居るといふ有樣で妙な面をいたして居ります、もう誰も相手になりましたので、平次は太刀で煽きながら、平「大森どの…イヤ大先生、お約束でござる、遠かにお立合ひ下され」大森主膳は最早致方がございませぬ滿々ながら木刀を執つて出て來まして 主膳「然らば拙者お相手いたすでござる」平「望むところだ、サアお出で、見たいわい」熊「さうでございます、先生さまの御病氣もこれで全治するかも知れません私は一番お先へ參りますと」熊助は一散走りに駈出しましたが、折柄向から旗下と見えまして、一人の仲間を連れて出て來た一人、偶然熊助の擔いで居る看板を眺て「ハヽア最う疾くに下してございますな」平「早い奴だな、ちや續きなさい」とこれから平次と熊助は駒木根先生の看板と、大森主膳の看板を擔がせまして、師匠の無念晴をして悅び勇んで歸つて參りました 熊「エ、若先生、何うも此樣な心地の好もこゝはございませんな」平「そうぢや隨分愉快ぢやのう、少しも早く立歸つて、お師匠のお喜びになる顏を見たいわい」熊「さうでございます、先生さまの御病氣もこれで全治するかも知れません私は一番お先へ參りますと」熊助は一散走りに駈出しましたが、折柄向から旗下と見えまして、一人の仲間を連れて出て來た一人、偶然熊助の擔いで居る看板を眺て ○「アヽコリヤ〳〵待て〳〵」○「其方の待て居る看板は、全体これは何うするのぢ」熊「ヘイ」○「これは私の若先生が板掛の立合をして勝つて持て歸りますので」○「ハヽア、して貴樣の若先生とは誰だ」熊「只今後からお歸りになります、駒木根先生の御門人でございます」○「さうか、幾しその看板を持歸ることならぬ」熊「ヘエーならぬと仰しやつてもこれは双方相對で受けて歸りますので」○「イヤなからぬ、全くの病氣でござる」平「上持て歸りますのでは御病氣とあれば致方がござらぬ、全体あの道場は拙者が建た物、その看板も拙者の物ぢやから、持歸ることは相成らぬ」熊「だつて貴下……」○「早く看板を下して呉れ」熊「ヤア夫りゃ

日本人諸君におなじみの

カフエ あでりの

洋酒各種、茶、レイチ

聖市プラサジョアンメンデス ガラージ・コングレッソの前

疲勞の研究

仕事と無關係な機械的の疲勞原因

事務所で働く人々の爲めこの事に氣付いたギルブレス氏は、すぐさま机の位置を變へた。さうして商人は、何時でも黑い壁を見てゐる樣にした。其後數週間で彼は前のやうに激しい疲勞を感じる事が無くなつた。

人間の目は實に精巧な機械であるから、餘程注意しないといけない。殊に惡いのはピカ〳〵光る物である。非常に澤山タイプライタアを使用する事務所ではタイプライタアのニッケルの部分を黑ずんだ色で塗つた所が仕事の能率が大變に上つたと云ふ報告もある。

●●●●●

机邊の整頓

分り切つたやうな事であるが机の上がちらかつてゐると、疲勞する度が早い。あれもあり、これもあると氣が散る。散つても差支ないやうなものゝ、事務家はその散つた心を集中させねばならないから、不知不識に精神をつかふ。これは不必要であり、疲勞を大にする。

●●●●●

服裝の注意

だらしの無い服裝をしてゐるのは勿論いけないが、さりとて餘りきつちりした服裝もよくない。とかく若い會社員は、輕快に見えやうとするを飾り首に喰ひ込むやうなカラや、足を締めつけるやうな靴をはくが、それがどれ程害をしてゐるか分らない。一つは習慣もある。きついカラも、慣れゝ慣何ども無くなるが、然しその人は、常に身躰を苦しめられてゐるのである。氣が付かずに、その部分のことを考へてゐるそのであつ。靴はつまさきに扁桃の核を樂ほど入る位大きいものが良いとギルブレス氏は云つてゐる。

Fujisaki & CO.

Rua São Bento, 68-A

Tel. Central—2788

Caixa, 344 São Paulo

日本雜貨

本店 リオデジャネイロ

支店 ベルナンブーコ

サンパウロ支店

ルナ、サンベント……六八A

藤崎商會

OSAKA SHOSEN KAISHA

發着廣告

日本より しかごま丸 サントス着八月十六日 リオ着八月十八日

日本より めさしこ丸 サントス着七月十二日 リオ着七月十四日

詳細は左記へ御照會下され度候

Antunes dos Santos e comp.

B.de Itapetininga, 39-41A S. Paulo

Rua do Commercio, 84 Santos

Wilson Sons & Co Ltd

Av. Rio Branco 17 Rio

Dr. Takaoka

Medico e Operador

師醫

診察時間午後三時より六時迄

聖市 ファグンデス街八

電話 セントラル 四一八〇

▲撞球場、碁・將棋其他娛樂設備のり

電話 セントラル 六一七三

御旅館常盤

館主 石原 桂造

聖市コンデ、デ、サルゼーダス 四一

郵函 一八五〇

THE YOKOHAMA SPCIE BANK, LTD

Rua da Candelaria No. 23

Caixa No. 380

RIO DE JANEIRO

リオ、デ、ジャネイロ

横濱正金銀行 リオ支店

▲歸里送金

一、御送金の伯貨は當店にて最勝り當時の爲替相場にて日本金に換算致候

二、日本內地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔致し即金無手數料にて御郷里受取人へ送り屆け申上候

三、金子はコンパロール、郵便爲替又は銀行小切手にて書店へ御送り被下度猶ほ橫濱正金銀行勘定をしてメジコ、コンメルシアル、スタンドード、デ、サンパウロ又は御指定宜の方はバンコ、ノロエステ、ド、エスタード、デ、サンパウロへ御拂込以下てゝ差支へ無之候

四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに書店へ御送り被下度候

預金

邦貨定期預金利息六月以上年六分

六ヶ月以上年四分五厘

全伯貨全 壹ヶ年以上年五分

伯貨當座預金（小口）……年四分

預送金用紙は御請求次第直に御送り可致

不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候

預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候

間申込之際最寄郵便局御指定相成候ばは御便宜に有之候

敬具

FERNANDO HAKRADT Co

Rua de S. Bento, 33

2 andar sala 7

Caixa, 948 São Paulo

肥料 肥料

作物に肥料は一番ペ切です、弊店の肥料は獨逸式じ芋、綿、野菜、珈琲、ミリヨ等夫々別の肥料を差上ます、品物は極上有効です日本人諸君には特に御便宜を計りよす

聖市 ルアサンベント三十三番二階七號室

カイシヤ 九四八

フエルナンドハツダラト商會

Elixir 914

CALVÃO & Cia.

Av. S. João, 145 S. Paulo

▲木劑は微毒唯一の科學的血清療法です。

▲微毒性リユーマチスに悩む人、淋毒の膿ある御婦人は參劑跡絕滅式みなる、麻痺に効顯がありますまた他フエリーダ、淋菌、微毒性毛脫け、潰瘍、ハゲ等諸病にお困りの方は今日から本劑をお用ひあれ。

▲本劑には砒素も沃化物も含んでは居ません服藥ノ參め胃腸を害ひ齒を痛めた其他身躰を損傷する樣なことは決してなく自然的に血を淨め內臟の機能を整える効能があります從來絕藥精風味を帶び誰方の御服用にも向きます

■黴毒根切妙藥■

（國內到る處の信用ある藥店にあり）

（一九一六年二月二十一日衛生局認可）